

農業委員会だより

No.189

〒970-8026
いわき市平字堂根町4-8
TEL.0246(22)7534
FAX.0246(22)7538

編集・発行 いわき市農業委員会



田人の歴史と 農業にふれる



(詳しくは2ページ)

主な記事のご紹介

2ページ

● いわき市農林業賞

3ページ

● トピックス

4ページ

● 今号の表紙から

● がんばる農業者
あの人 この人

● 農地流動化情報

5ページ

● 農作業労働賃金標準額

6ページ

● 地区だより

令和2年度 いわき市農林業賞受賞者決定

去る2月5日(金)に、いわき市の農林業の発展等に顕著な実績をあげられた農林業者等を表彰する「いわき市農林業賞」の令和2年度表彰式がクレールコート(内郷綴町)で開催されました。

個人・団体の部(団体)



いわき小名浜菜園株式会社
(平成15年11月設立)

トマトの生産・収穫・出荷まで一貫経営を行い、世界最先端の生育環境制御システムを導入、温度・湿度・養液等をコンピュータ管理することで、高品質・高収量に最適な栽培環境を整備しているほか、環境に配慮した経営に取り組んでいる。

アジアGAP、日本GAPの認証を受け、適切な農産物の栽培管理や経営管理を実現している。また、障がい者雇用を設立直後から継続し、いわき市障がい者雇用優良企業として表彰された。

東日本大震災後、県、市と協力し本市農産物の安全・安心のPRを実施し、本市農業の振興へ大きく貢献している。

個人・団体の部(個人)



阿部 安政さん(70歳)
三和町下市萱

林業家の4代目として、自己所有の山林の他、いわき市森林組合等からの作業受託による約300ha規模の山林を管理するとともに、林業収入を少しでも森林所有者に還元したいとの考えから、早くから最新式の林業機械を導入し、作業効率と生産性の向上を図っている。

これまでに青少年林業改良実績発表会知事賞、民有林造林コンクール県農林種苗農業協同組合長を受賞。

林業家として、森林の多面的機能を次世代に繋ぐことを重視し、平成29年には県指導林家に認定され、林業従事者及び後継者の育成に大きく貢献している。

青年の部



坂本 和徳さん(46歳)
山田町

農業後継者として水稲及び露地野菜の生産に取り組みとともに、中核的な担い手として広範な農地の有効活用・保全に貢献しており、また、西洋野菜の栽培は広く評価されている。

水稲の副産物であるもみ殻等でたい肥を作り使用するなど、環境負荷の低減及び安全・安心な農作物の供給に努めている。

当時会長を務めていた「いわき農業青年クラブ連絡協議会」は市・県の農林業賞を受賞している。

現在は市農業委員や県指導農業士として、農業後継者の育成に努めている。

青年の部



小泉 昌男さん(41歳)
常磐白鳥町

農業後継者として精力的に農業に取り組み、ほ場の集積・集約を積極的に進めるほか、地域の農業関連施設の維持にも大きく貢献している。

平成17年にはエコファーマーの認定を受け、環境負荷の低減及び安全・安心な農作物の供給に努めているほか、米の直販や地元酒造への出荷による地産地消の推進を行っている。

平成27年から市農業委員を2期務めるほか、いわき市認定農業者協議会監事、県青年農業士、いわき県の会監事など各種団体で役職を務めるなど、地域の若手農業者の模範的存在として活躍している。

トピックス

いわき市では、中山間地域の振興のため、夏場でも冷涼な気候を活かした栽培品目の普及を図るため、令和2年度より「中山間地域産地形成モデル事業」を展開しています。すでに、川前・三和地区において実証圃場を整備し、ピーマン・夏秋ねぎの試験栽培がされています。生産された農産物は、市場や直売所へ出荷、価格や需要・消費動向調査の他、一部は「いわき野菜アンバサダー」や市内小売店バイヤー、料理人等によるアンケート調査も実施されています。

おすすめの栽培品目のピーマンは、露地では初期投資が抑えられ、田村地区の共同選果場を利用でき、選果の負担軽減が見込まれます。反収が多く、高収入を目指す方にもおすすめです。夏秋ねぎは、夏場問題の虫害発生が少なく、高品質のねぎが収穫可能で、その時の価格動向を見ながら出荷の調節が出来ます。

また、初めての方でも安心して取り組めるよう、JAといわき農林事務所が連携して営農と栽培の指導を行うほか、市の補助事業の活用も可能です。今後は、地区内における栽培農家を拡大し、他の中山間地域へも普及を図っていく予定ですので、興味のある方はぜひチャレンジしてみませんか？

《執筆 遠藤重和 委員》



お問合せ 市農業振興課 園芸振興係 (Tel 22-7479)

農地Q&A

農地を農地以外の用途に使用したいのですが

◎ 自分の土地なので、自由に使用して良いですよね？

▲ 所有者であっても農業委員会で届出や許可を得る等の手続きが必要です。農地は食糧生産のための限りある資源なので、農地以外での利用が法律で規制されています。

◎ どのような手続きをすればいいですか？

▲ 市街化区域以外(都市計画区域外含む)の場合は許可申請書を提出し、許可を受ける必要があります。市街化区域の場合は届出が必要です。許可が不要な場合(※)もありますので、事前に農業委員会へお問合せください。

(※) 自己所有の農地にその農地の所有者が使用する200㎡未満の農業用施設を建設する場合等

◎ 少しの間だけなのですが…

▲ 一時的に使用する場合(一時転用)であっても転用手続きが必要です。その場合、使用後は元の農地へ戻す必要があります。

◎ 許可されないこともあるのですか？

▲ 目的や場所によっては許可がでない場合があります。集団農地の中央部など、他の農地の耕作に影響が出る箇所や、農地以外の土地を使用することで目的が達成される場合は、許可できません。

◎ 許可を受けずに転用した場合はどのような処分を受けますか？

▲ 農地所有者や事業者が是正指導や原状回復命令を受ける場合のほか、罰則(※)が科されることがあります。また、許可後に事業計画どおりに転用しなかった場合も同様の処分を受けることがあります。

(※) 懲役刑(3年以下)または罰金刑(個人の場合300万円以下、法人の場合1億円以下)

お問合せ
農地審査係 ☎(22)7578

今号の表紙から

今月の表紙は、田人公民館と農青連で毎年行っているこんにやく作りについてです。

田人小学校の児童たちと一緒に学校裏の畑にこんにやくを育てます。四月に畑の草むしりや耕運をし、五月に種芋のどんこを植え付けます。十一月に収穫をし、芋から食べられるこんにやくへと加工します。

一昔前は田人町では盛んだったこんにやく作りですが、中国産の安いこんにやくにおされ、現在では数件が作るのみとなつてしまいました。

田人の農業の歴史や土に触れ合ったり農業の大切さを感じてもらい、

興味を持って将来農業を目指す青年に成長してもらえたらありがたいと思います。

(撮影・執筆 蛭田秀史 副編集委員長)



がんばる農業者 あの人この人



にい つま よし ぶみ
新妻 芳文さん(55歳) 平原高野

年補導ボラ
ンティアな
どに積極的
に参加し地
域との繋が
りを大切に
しています。
子供達を
対象に自宅
で収穫した
もち米で餅
つき大会や
さつまいも
の芋掘り大

今回ご紹介するのは、平原高野にお住まいの新妻芳文さんです。以前は別なお仕事をされていましたが、地元に戻って稲作と野菜栽培に取り組み、現在では田は作業受託を含め10ha、畑20aを耕作しています。コシヒカリ、天のつぶ、こがねもち他、野菜はトマト、きゅうり、白菜、さつまいもなど、化学肥料を使用しない低農薬での栽培に取り組んでいます。

また、地域の小学校の総合学習の講師やPTA活動、少

また、地域の小学校の総合学習の講師やPTA活動、少

また、地域の小学校の総合学習の講師やPTA活動、少



農地流動化情報

Vol.47

農業委員会では、耕作を目的とする農地情報の収集・提供を行っています。売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談下さい。

◆売りたい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	好間町上好間字田代 (1筆)	田	5.26
2	平下高久字十郎田 (1筆)	田	9.35
3	平下高久字若宮 (2筆)	田	50.44
4	平鶴ヶ井字五反田 (1筆)	田	11.45
5	岩間町上山 (1筆)	田	13.45
6	平馬目字沼ノ町 (2筆)	田	19.49

◆貸したい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	平下高久字大志田 (1筆)	田	9.42

詳細を知りたいという方は、農業委員会事務局までお問い合わせください。



お問い合わせ

農地調査係 ☎(22)7574

令和3年農作業労働賃金標準額

いわき市農業委員会

福島さくら農業協同組はいわき地区本部

この標準額表は、本市の農林業における一般的な作業について、その標準的な金額を定めたものです。受委託にあたり、**当事者間で委託料を協議するための“目安のひとつ”**としてご利用ください。



【請負労働作業】				
作業名	標準額(円)	単位	摘要	
育 苗	670	1箱	個人育苗硬化まで	
耕 起	5,800	10a	ロータリー耕	
	7,000	10a	プラウ耕	
畔 ぬ り	50	1m		
ブロード キャスター による施肥	500	1肥料1回 /10a		
代 か き	6,700	10a		
田 植	6,500	10a	側条施肥の場合、500円増し。 薬剤等の場合、500円増し。	
防 除	900	10a	薬剤費別	
あ ぜ 草 刈	3,000	1時間	自走式草刈機使用の場合	
バインダー	7,500	10a	ひも込み	
脱 穀	7,500	10a	ハーベスター	
コンバイン	28,000	10a	ワラ結束の場合2,000円増し	
コンバインの内訳	刈り取り	17,000	10a	倒伏の場合は、話し合いによる
	乾 燥	8,000	10a	
	運 搬	3,000	10a	
も み 摺	300	30kg	運搬を除く	
同 時	400	30kg	もみ摺・色彩選別機同時の場合	
色彩選別機	300	30kg	専用持ち込みの場合	
く ず 米	100	30kg	計量と持ち帰りが条件。 放棄する場合は該当しない。	
畑作業	耕 起	5,600	10a	ロータリー耕
果樹園 作 業	薬剤散布	2,500	10a	スピードスプレーヤ薬剤費別
トラクターモア による草刈		7,000	1時間	

【雇用労働作業】				
作業名	標準額(円)	単 位	摘 要	
水田 作業	手 作 業	7,000	8時間(1人1日)	
	機械作業 (機械持参)	10,000	8時間(1人1日)	草刈りなど
畑 作 業	6,500	8時間(1人1日)		
果樹園 作業	整枝剪定	10,000	8時間(1人1日)	
	果樹一般作業	7,000	8時間(1人1日)	
山林 作業	手 作 業	9,000	8時間(1人1日)	下刈りなど
	機械作業 (機械持参)	12,000	8時間(1人1日)	下刈りなど

【備考】

- 特に、次のような場合には、当事者間で十分協議のうえ調整してください。
 - 労働能力(性別・年齢・経験など)、山間部と平坦部、乾田・湿田など農作業に地域差等がある場合
 - 整理田を基準としていますので、未整理田、土壌条件、農道の状況などの差異がある場合
 - この表に記載のない作業を受委託する場合
- 1時間あたりの福島県最低賃金(令和2年10月2日改定)は、800円です。



※農地・農業者年金・農政問題等は
農業委員および農地利用最適化
推進委員にご相談下さい。

※課税売上高が1,000万円を超える場合には、請負額に別途消費税が加算されます。



三和町伝統小豆「むすめきたか」復活

今回紹介するのは、栽培農家が1戸まで減少し、絶滅寸前だった三和町伝統小豆「むすめきたか」の復活の話題です。「むすめきたか」は、嫁いだ娘が里帰りしてから調理しても間に合うほどに早煮えであることが名前の由来となっている、赤白のまだら模様の小豆です。

かつては三和町内で広く栽培されていましたが、時代とともに年々減少し、一戸の農家だけが細々と栽培していました。それに止め危機感をもったのが、地域おこし協力隊で赴任した菊田清貴氏です。なんとか三和町独特の伝統小豆を復活させたいと三和町内に栽培を広く呼びかけたところ、集落支援員11名、三和町ふれあい市場直売所会員16名の協力が得られ、見事に復活しました。

昨年は天候にも恵まれなかったにもかかわらず、皆さんが一生懸命努力した結果、収穫量が約250キロになりました。

一方収穫した小豆の加工食品の研究開発にも挑戦し、農家レストラン「ぷろばんす亭」に協力してもらい試行錯誤の結果、このほどようやく製品化に成功し、

茶娘まんじゅうとして土曜日限定で三和町ふれあい市場で販売しています。(都合により販売曜日を変更する場合があります) お客様の評判がよく数量限定もありすぐに売切れ、嬉しい悲鳴をあげている状態です。販売時間は午前9時30分からになります。早目にお越しくださるようお願いいたします。

詳しくは同市場までお問い合わせください。



▲茶娘まんじゅう

(撮影・執筆 草野久仁昭 委員)

編集後記

第16期編集委員としての農業委員会だより編集は今回が最後となりました。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。最後に各委員より、ご挨拶を申し上げます。

蛭田 元起 編集委員長



現編集委員で作る農業委員会だよりは今号で最後になります。多くの方のご協力があったて、毎号いわき市の農業情報をお伝えすることが出来ました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

蛭田 秀史 副編集委員長



毎回拙い文章ながらも執筆させていただきありがとうございました。取材に励みました。取材に

ご協力いただいた方々にお礼申し上げます。

遠藤 重和 編集委員



視察研修や取材活動を通して委員会活動への理解を深め、楽しく活動するこ

とが出来ました。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

鈴木 義直 編集委員



ドキドキの編集委員でしたが、無事務めあげることが出来ました。三年間ありがとうございました。

草野 久仁昭 編集委員



大変勉強になりました。三年間お世話になりました。ありがとうございました。

箱崎 寿正 編集委員



取材や原稿作成など多くの経験させていただきました。お世話になった皆様、記事を讀んでくれた皆様ありがとうございました。

和田 正人 編集委員



私にとって原稿作成は苦手分野でしたが大変勉強になりました。ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。